

## 探究活動のこれまで



### ■地域と矢高生の学び合い

今年度の探究活動では、自分たちのやりたいこと、できること、必要とされることの3つの観点から、地域で活動できないかを考え地域にプレゼン！コメントやアドバイスをいただいたり、逆に地域の活動を教えてもらったり、学び合いからスタートしました。



### ■地域の協育パートナーさんと作戦会議！

地域の協育パートナーさんから地域の現状を教えてもらったり、課題解決の企画を立てたりしました。いつ、どこで、何をするのか、誰に対して行うのか、など細かく考えることを学びました。



### ■チームで実践！地域で実践！

発見した課題の解決策・仮説を立案。地域に出てイベントを開いたり、試作を作ったり、それぞれの方法で実践を行いました。実践後見つかった新たな課題について協育パートナーさんに相談したり、新たな解決策を考えたり、探究のサイクルをどんどん回していくことを目指しています。



▲11月16日に立命館大学食マネジメント学部で大学生や大学教授の前で発表しました！



### ▲教材

考えることを考えるための探究チャート

令和5年度

普通科

# 地域未来探究発表会



## Schedule

11:40	開会式
11:50-12:30	①成果発表(発表10分間+質疑応答3分間)×3班
	お昼休憩
13:20-14:15	②成果発表(発表10分間+質疑応答3分間)×4班
	5分間休憩
14:20-15:15	③成果発表(発表10分間+質疑応答3分間)×4班
	10分間休憩
15:25-16:00	リフレクション:探究のふりかえり、ネクストアクション
16:00	閉会式

【講師者・審査員】

駒川一彦(矢上高校校長) 白石尚也(コンソーシアムマネージャー)  
高橋洋平(島根県教育庁) 長谷川勇紀(島根県教育庁)

## 島根県立矢上高等学校

日程：2023年12月19日(火)

開演：11:40～

会場：矢上交流センター ホール



時間	No.	発表タイトル	概要
11:40   12:30	1	保育士を救え!	私たちは将来保育に関わる職につきたいと思っている人たちが集まったグループです。保育の中でも保育士に目を向けました。そこで私たち高校生が保育士の負担を少しでも軽減するために活動したことを発表します。
	2	あなたのそばにプロテイン	高齢者の健康を維持したい!この目標を達成するため、私たちはプロテインを作りました。しかし、ただのプロテインではない。ムキムキになって欲しいのではない。健康になって欲しいんだ!私たちの新時代のプロテインに乞うご期待...
	3	ロケットで目覚める 邑南町!!	私たちはモデルロケットを手段に用いた地域連携をテーマに活動してきました。文系と理系のメンバーそれぞれの強みや、学んで来たことを生かしながら実践してきた探究活動の成果を発表します。
13:20   14:15	4	邑南町のハーブを使ってヘアオイルを作ろう!	私たちの班は働く女性、学生を対象にリラクセスできるハーブを使ったヘアオイルを作っています。邑南町を少しでも盛り上げようと思ったので、邑南町にあるハーブを使用しました。
	5	アニマルセラピーで 邑南町を救おう!!	私たちの班は医療に興味がある人が集まり、その中でも動物が好きなお人が多かったのでアニマルセラピーに着目し、猫ちゃんと一緒に邑南町の高齢者の方々に癒しとコミュニケーションの場を提供することを目的に活動してきました。
	6	邑南町の提供医療を 充実化させる	私たち医療班はメンバー全員が将来医療関係の職業に携わりたいと思っており、さらに邑南町の医療をより良いものにしたいたいと思い、邑南町の医療について調べました。邑南町の医療活性化に向けた取り組みの発表をします。

時間	No.	発表タイトル	概要
13:20   14:15	7	食を通して人との 繋がりをつくる	私たちは食を通して日貢に訪れた人と日貢の人が交流できるようにしたいと思いました。日貢のおさつまいもを使ったスイートポテトを宿泊施設に置いてもらうなどして、日貢に訪れた人に日貢の情報を提供してリピーターを増やそうと考えています。
14:20   15:15	8	空き家の有効活用	私たちのテーマは空き家の有効活用です。空き家をより多くの人に使うてもらえることができるように、そして現在増えてきている空き家を減らすことができるように私たちが活動してきたことを発表します。
	9	空き家と共に 生きていく	私たちは邑南町の問題点の1つである「空き家問題」について注目して探究を行ってきました。現在ある空き家を減らす取り組みではなく、未来の邑南町の空き家の数が少しでも減るような考えをみなさんに伝えたいです。
	10	2-1ダッシュ ~0円食堂~	私たちはフードロスについて探究し、その中でも町内でも出る廃棄野菜の活用方法について考えました。0円という所にもこだわり、廃棄手前の物をどうすれば人が口にできるような食べ物になるのか、回数を重ね、実践しています。
	11	世代間交流で 地域活性化	地域活性化の効果があるとされる世代間交流をどのような方法で天上地域に取り入れることができるのか、仮説を立て、地域団体の方々と実践しました。その結果から発見し、考察したことを段階的に経緯を踏まえつつ発表します。

